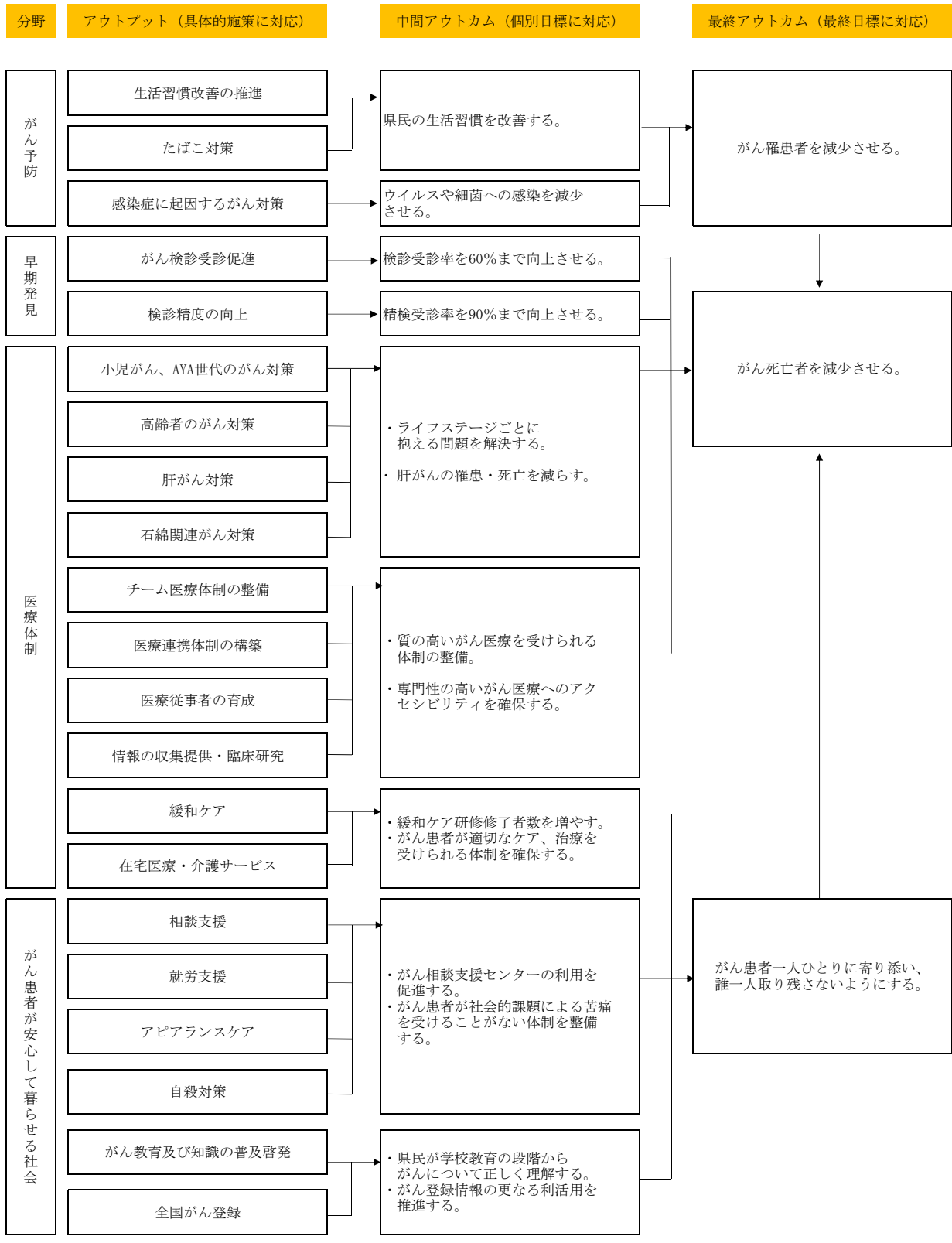


# 兵庫県がん対策推進計画ロジックモデル (全体図)



# 兵庫県がん対策推進計画ロジックモデル（指標一覧）

第4章 全体目標				県数値
(1) がんによる罹患者・死亡者減少の実現				
1	最終	がんの75歳未満年齢調整死亡率		64.7
2	最終	がんの年齢調整罹患率		368.6
(2) がん患者一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さない兵庫の実現				
3	最終	がん種別5年生存率	胃	68.0
4			肺	38.4
5			大腸	71.9
6			乳	91.3
7			子宮	74.8
8			肝	36.4
9	最終	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合		62.7%
第5章 分野別施策及び個別目標				
第1節 がん予防の推進				
(1) 生活習慣改善の推進				
10	中間	メタボリックシンドローム該当者割合		15.8%
11	中間	食塩摂取量の中央値		9.8g
12	中間	野菜摂取量の中央値		303.5
13	中間	果物摂取量100g未満の人の割合		46.6%
14	中間	1日の歩数の平均値	男性	7,405
15			女性	6,561
16	中間	日常生活のなかで体を動かすことを習慣化している人の割合		36.5%
17	中間	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒をしている人の割合		11.0%
18	中間	20歳未満の飲酒の割合		0.9%
19	アウトプット	健康づくりチャレンジ企業登録社数		2163社
(2) たばこ対策の充実				
20	中間	習慣的に喫煙している人の割合	全体	12.4%
21			男性	23.7%
22			女性	4.0%
23	中間	受動喫煙の機会を有する者の割合	職場	21.6%
24			飲食店	17.3%
25			行政機関	3.5%
26			医療機関	4.6%
27			家庭	8.0%
28	中間	20歳未満喫煙割合		0%
29	アウトプット	喫煙防止教室の開催回数		7回
(3) 感染症に起因するがん対策の推進				
30	中間	肝炎ウイルス検査の受診人数		1361人
31	アウトプット	HPVワクチンの実施率	1回目	43.5%
32			2回目	43.7%
33			3回目	36.8%
34	アウトプット	肝炎医療コーディネーター数		1297人
第2節 早期発見の推進				
1 がん検診機会の確保と受診促進支援				
35	中間	検診受診率	胃	43.0%
36			肺	44.2%
37			大腸	43.2%
38			乳	42.8%
39			子宮	38.9%
(1) 市町の取組支援				
40	アウトプット	受診勧奨実施市町村数	胃	33/41市町
41			肺	33/41市町
42			大腸	37/41市町
43			乳	37/41市町
44			子宮	37/41市町
45	アウトプット	普及啓発キャンペーンの取組市町数		37/41市町
(2) 企業・職域との連携				
46	アウトプット	企業におけるがん検診受診促進事業助成人数		11201人
47	アウトプット	がん検診等受診率向上推進協定締結企業		24社
(3) がん検診受診促進のための普及啓発				
48	アウトプット	普及啓発キャンペーンの取組市町数（再掲）		37/41市町
2 適切ながん検診の実施				
49	中間	精密検査受診率	胃	78.8%
50			肺	81.6%
51			大腸	66.7%
52			乳	86.8%
53			子宮	76.2%
(1) 事業評価・精度管理の実施				
54	アウトプット	検診委託仕様書に制度管理項目を明記している市町数	胃	18/39市町
55			肺	19/40市町
56			大腸	18/41市町
57			乳	17/33市町
58			子宮	14/28市町
(2) がん検診従事者の専門性の向上				
59	アウトプット	がん検診を行う医療従事者研修会の受講人数		212人

第3節 医療体制の充実				県数値
<b>1 個別がん対策の推進</b>				
60	中間	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点）		7.8点
61	中間	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合		25.0%
62	中間	75歳未満年齢調整死亡率（肝）		3.5
63	中間	年齢調整罹患率（肝）		11.8
(1) 小児がん、AYA世代のがん対策				
64	アウトプット	若年がん患者妊孕性温存治療費助成事助成件数		88件
(2) 高齢者のがん対策				
65	アウトプット	当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の数		18/18施設
66	アウトプット	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等の数		18/18施設
(3) 肝がん対策				
67	アウトプット	肝炎医療コーディネーター数（再掲）		1297人
(4) 石綿（アスベスト）関連がん対策				
68	アウトプット	石綿関連相談受付件数		151件
<b>2 医療提供体制等</b>				
69	中間	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）（再掲）		7.8点
70	中間	医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合		64.6%
71	中間	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合		77.3%
72	中間	一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合		81.5%
73	中間	ゲノム情報を活用したがん医療についてがん患者が知っていると感じた割合		23.1%
(1) 拠点病院等におけるチーム医療体制の整備				
74	アウトプット	地域における相談支援や緩和ケアの提供体制・連携体制について協議し、体制整備を行った拠点病院等の数		18/18施設
75	アウトプット	医療機関としてのBCP*を策定している拠点病院等の数		17/18施設
(2) 医療連携体制の構築				
76	アウトプット	がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対応している拠点病院等の数		18/18施設
77	アウトプット	地域の多施設が開催する多職種連携カンファレンスへの参加数		183回
(3) がんの専門的な知識・技能を有する医療従事者の育成・配置				
78	アウトプット	学会等が認定する専門医（①日本医学放射線学会放射線治療専門医、②日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、③日本がん治療認定機構がん治療認定医）を複数部門配置している拠点病院等の数		18/18施設
(4) 情報の収集提供と治験・臨床研究の推進				
79	アウトプット	がんゲノム医療中核拠点病院等の数		2施設
80	アウトプット	希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等の数又は他施設へ紹介する拠点病院等の数		18/18施設
<b>3 がん患者の療養生活の質の維持向上</b>				
81	中間	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合		47.5%
82	中間	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合		43.2%
83	中間	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合		72.6%
84	中間	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合		38.9%
85	中間	医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合		68.6%
(1) がんと診断された時からの緩和ケア等の推進				
86	アウトプット	緩和ケア研修修了者数		7651人
87	アウトプット	がん疼痛緩和指導管理料届出医療機関数		484機関
(2) 在宅医療・介護サービス提供体制の充実				
88	アウトプット	若年者の在宅ターミナルケア支援実施市町数		26市町
89	アウトプット	在宅療養支援診療所数		951施設
90	アウトプット	多職種間連携システム(バイタルリンク)の導入地区数		32地区
91	アウトプット	地域の多施設が開催する多職種連携カンファレンスへの参加数（再掲）		183回
<b>第4節 がん患者が安心して暮らせる社会の実現</b>				
<b>1 がん患者への支援の充実</b>				
92	中間	がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合		69.8%
93	中間	ピアサポーターについて知っているがん患者の割合		17.8%
94	中間	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合		35.5%
95	中間	がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合		80.8%
96	中間	身体的・精神心理的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合		67.4%
97	中間	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合（再掲）		38.9%
98	中間	外見の変化に関する悩みを誰かに相談ができたがん患者の割合		33.2%
(1) 相談支援体制の充実				
99	アウトプット	がん相談支援センターにおける相談件数		14875件
100	アウトプット	相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数		99人
(2) 就労支援体制の構築				
101	アウトプット	拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数		887件
102	アウトプット	拠点病院等における就労の専門家による相談会の回数		226回
103	アウトプット	ハローワークと連携した就職支援をおこなっている拠点病院等の数		18/18施設
104	アウトプット	長期療養者就職支援事業を活用した就職者数		96人
(3) アピアランスケア				
105	アウトプット	拠点病院等におけるアピアランスに関する相談件数		11738件
(4) がん患者の自殺対策等				
106	アウトプット	緩和ケア研修修了者数（再掲）		7651人
107	アウトプット	自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院等の数		4/18施設
<b>2 がん患者を支える社会の構築</b>				
108	中間	がんについて恐ろしい病気であると感じた者の割合		64.2%
(1) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発				
109	アウトプット	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合		3.6%
110	アウトプット	拠点病院等で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）		41回
(2) 全国がん登録の推進				
111	アウトプット	全国がん登録実務者向け研修申込者数		225人